

生命科学特別演習Ⅱ * Honors Course for Life Science Training II *

学 年	第2学年	前期・後期	通 年	単 位	1	科 目 分 類	分子 応用 医科	自由
担当教員	学部長、生命科学部各担当	最高評価	A	GPA	対象外			
修得できる力	情報収集力・情報分析力・課題解決能力・論理的思考力・英語力・読解力・プレゼンテーション能力							
関連科目	3131 生命科学特別演習Ⅲ *							

ねらい

学部の授業に加えて、早い段階から最先端の研究活動に触れる「研究の早期体験 (early exposure)」制度である。特別に学習意欲が高く、かつ成績が優秀な学生を対象としている。通常の授業時間外や週末等を利用して行なわれるので負担も大きいですが、研究の面白さを体験できる。大学院飛び級希望者は特別演習を受講しておく事が望ましい。

概要

学生自身が選んだ教員から個別指導を受けて、最先端の研究活動を体験する。

到達目標

研究活動とその内容を説明できる。

授業内容

専門領域の総説や大学院レベルの教科書、さらにはトピックとなる論文等を読み、その内容の説明、質疑応答を行う。実験を行う場合もある。行動目標は各研究活動を一段階ずつ説明できる。

準 備 学 習：基本となる通常の授業をしっかりと学修しておくこと。
(予習・復習等)

授 業 形 式：論文等を読んだり、実験を行ったり、研究活動を体験する。

課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法：個別に受ける。

成績評価方法：積極性、習熟度などにより、総合的に評価する。

所 属 教 室：研究室教員

特 記 事 項：生命科学部の全教員が参加するとも限らないので、希望通りにならない場合もある。希望者は予め教員に相談しておく必要がある。履修は成績上位者に限られる。